



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4671 URL <https://www.falco-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 安田 忠史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理室長 (氏名) 黒田 修平 TEL 06-7632-6150
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	21,366	0.2	974	14.4	1,036	11.3	794	26.2
2024年3月期中間期	21,325	△11.7	851	△51.1	931	△50.4	629	△44.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 690百万円 (10.1%) 2024年3月期中間期 627百万円 (△45.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	74.46	74.25
2024年3月期中間期	56.29	56.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	36,165	25,917	71.4
2024年3月期	36,425	26,026	71.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 25,838百万円 2024年3月期 25,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	75.00	115.00
2025年3月期	—	60.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 35円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,600	△0.9	2,300	6.9	2,400	4.9	1,700	2.0	159.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	11,080,177株	2024年3月期	11,080,177株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	410,041株	2024年3月期	407,381株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	10,670,159株	2024年3月期中間期	11,182,149株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復しているとみられております。先行きにつきましては、海外景気の下振れ、物価上昇、日本銀行によるマイナス金利政策の解除が及ぼす影響等に十分注視する必要がある状況にあります。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場では、新型コロナウイルス感染症(以下「COVID-19」という。)関連検査の受託数が減少したものの、感染を懸念した患者の医療機関への受診控えが解消したこと等により、コロナ禍前の事業環境に戻りつつあります。また、調剤薬局市場では、調剤報酬及び薬価の改定による影響が大きく、より厳しい事業環境となっております。一方で、医療分野におきましては、医療DXの実現に向け、情報通信、デジタル技術やデータを活用した新たなビジネスやサービスの創出が期待されております。

このような事業環境のもと、当社グループは、中長期的な持続的成長に向けた収益基盤を確立するために、事業構造の転換を図り、基盤事業である臨床検査事業・調剤薬局事業の事業変革を推進するとともに、成長事業であるゲノム事業・ICT事業の更なる成長に向けた取り組みを推進しております。

このような状況のもと、当中間連結会計期間においては、臨床検査事業及びICT事業の売上高、営業利益が増加したことにより、売上高は21,366百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は974百万円(同14.4%増)、経常利益は1,036百万円(同11.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は794百万円(同26.2%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、COVID-19関連検査の受託数が減少したものの、COVID-19関連検査以外の受託数は増加いたしました。また、臨床検査の集荷体制の強化を図るとともに、依頼・集荷、検査及び報告の各過程におけるICT化・効率化を推進することにより、生産性が向上し、コスト構造の改善が進みました。

ゲノム事業におきましては、体外診断用医薬品「MSI検査キット(FALCO)」の販売が堅調に推移し、周産期医療に係る遺伝子検査につきましても販売拡大に努めてまいりました。また、遺伝性腫瘍パネル検査の薬事申請・保険適用に向けた研究開発を推進しております。

このような事業展開の結果、臨床検査事業の売上高は13,095百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は726百万円(同5.5%増)となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局店舗数は当中間連結会計期間に2店舗閉じたことにより、当中間連結会計期間末において当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は108店舗(フランチャイズ店5店舗含む)となっております。

調剤薬局事業におきましては、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進め、既存店舗の処方箋応需の拡大に取り組んでまいりましたが、店舗数減少等による処方箋応需枚数の減少及び薬価改定による影響により、売上高は7,733百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は347百万円(同9.9%減)となりました。

③ ICT事業

ICT事業におきましては、販売活動を推進したことにより、診療所向けクラウド型レセプト総合支援サービス「レセスタ」は着実に契約数を伸ばしました。また、中小規模病院向けクラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」は、着実に新規導入数及び保守契約数が増加しました。また、医療DXの推進を見据えた顧客基盤の確立とサービス価値向上に向け、新たな機能開発を推進しております。

このような事業展開の結果、ICT事業の売上高は538百万円(前年同期比19.8%増)、営業利益は76百万円(同62.9%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に売上債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ259百万円減少し、36,165百万円となりました。

負債は、主に仕入債務の減少により、前連結会計年度末に比べ150百万円減少し、10,248百万円となりました。

また、純資産は、主にその他有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末に比べ109百万円減少し、25,917百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「令和6年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,065	10,551
受取手形及び売掛金	6,242	5,753
商品及び製品	834	1,080
仕掛品	77	118
原材料及び貯蔵品	555	494
その他	1,452	1,289
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,226	19,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,372	9,409
減価償却累計額	△4,887	△5,014
建物及び構築物(純額)	4,484	4,394
土地	5,370	5,353
リース資産	1,355	1,352
減価償却累計額	△1,097	△1,183
リース資産(純額)	258	168
その他	4,627	4,603
減価償却累計額	△3,716	△3,728
その他(純額)	910	874
有形固定資産合計	11,023	10,791
無形固定資産		
のれん	23	20
その他	314	384
無形固定資産合計	337	405
投資その他の資産		
投資有価証券	3,616	3,501
その他	2,225	2,183
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,837	5,680
固定資産合計	17,199	16,877
資産合計	36,425	36,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,414	4,290
短期借入金	500	550
未払法人税等	378	440
賞与引当金	496	510
その他	1,975	1,892
流動負債合計	7,764	7,684
固定負債		
退職給付に係る負債	1,760	1,717
資産除去債務	83	83
その他	790	762
固定負債合計	2,634	2,564
負債合計	10,398	10,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,307	3,307
利益剰余金	19,447	19,441
自己株式	△821	△821
株主資本合計	25,305	25,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	538
その他の包括利益累計額合計	642	538
新株予約権	78	78
純資産合計	26,026	25,917
負債純資産合計	36,425	36,165

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	21,325	21,366
売上原価	14,884	14,817
売上総利益	6,440	6,548
販売費及び一般管理費	5,589	5,574
営業利益	851	974
営業外収益		
受取配当金	55	48
貸倒引当金戻入額	1	0
その他	54	33
営業外収益合計	110	81
営業外費用		
支払利息	5	2
支払手数料	2	2
為替差損	—	4
保険解約損	11	5
投資運用損	6	3
その他	5	0
営業外費用合計	30	19
経常利益	931	1,036
特別利益		
投資有価証券売却益	68	196
固定資産売却益	1	2
資産除去債務戻入益	68	—
特別利益合計	138	199
特別損失		
固定資産除却損	11	5
減損損失	0	2
事務所移転費用	7	—
特別損失合計	18	8
税金等調整前中間純利益	1,050	1,226
法人税、住民税及び事業税	412	416
法人税等調整額	8	15
法人税等合計	420	432
中間純利益	629	794
親会社株主に帰属する中間純利益	629	794

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	629	794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△103
その他の包括利益合計	△2	△103
中間包括利益	627	690
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	627	690

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ICT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,971	7,904	449	21,325	—	21,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	12,971	7,905	449	21,326	△0	21,325
セグメント利益	689	385	46	1,121	△270	851

(注) 1. セグメント利益の調整額△270百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△644百万円及び内部取引の消去に伴う調整額374百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ICT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,095	7,732	538	21,366	—	21,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	13,095	7,733	538	21,367	△0	21,366
セグメント利益	726	347	76	1,150	△176	974

(注) 1. セグメント利益の調整額△176百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△582百万円及び内部取引の消去に伴う調整額405百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。